

# 寺崎組新聞

第八十五号

発行所 寺崎組新聞社

## 醤油屋の組宴会初体験

第105回国会報告

皆様、はじめまして。今回、初の春キャンプ(正確には野宿)にチャレンジさせて頂きました醤油屋です!

「寺崎組の野宿会」を勧められ初参加となりました。実際にやってみて、一言、

「なんでこんな面白いことを今までやらなかったんだ!!」

野宿は宿泊費が掛からないので財布にもとても優しいです。その分、最初に道具に対する投資が必要になります。今回は高価なテントとシユラフは取り合えず激安シユラフで機能を果たすモノをチョイスし、後はリサイクルショップやホームセンターで揃え準備OKとしました。



僕のテント(寝床)

の悪路はアメリカンタイプのバイクでは無理があり、最後の水溜りでドロドロになってしまいました。悲しい初日に...

しかし、普段のゴチャゴチャとした仕事を忘れ、自然の中で酒を飲んで語り合ったり、一人物思いに耽つたりする時間というのは格別です。

特に驚いたのは、皆さんが得意な料理を各自調理し、時計回りに配給していった事です。新鮮な発見があったり楽しかったです。次回は私の得意料理を是非味わって下さい!



なんで今までキャンプブームに行かなかったのか? オフロードバイクを所有した事のない私はどうしてこの足を踏んでしまったのか? この機会にドツブリ野宿に漬かってみようと思ひますので、皆様! そんなこんなで今後ともよろしくお願ひ致します。

記 237号 醤油家上嶋

5月3日

屋を少し過ぎた頃だったろうか、とある事情でポロのXL250Sを積んだ軽トラは鳥居峠に向かつてヒコラ上つていった。そこで涼風さんのKTMとすれ違う。いつものキャンプ地に到着。テントが2張り、荷崩れ佐藤くんが暇そうに七輪で煎餅など作っている。まずは乾杯、佐藤くんと涼風さんは昨日から来ているとのこと。そうこうしているうちに、軽トラに乗ったコマダ氏到着。荷台には材木屋で押しつけられた端切れ満載。軽トラを良く見ればアクティ550からサンバー660に変わっている。アクティは、いつかの組新聞作りに向かう途中、薪満載で国道20号線を峠越えしたところクラッチが焼けてしまったのだ。

涼風さんが買い出しから帰り、まずは乾杯。夕方近く、山々にCB250セニアの破れマフラーの轟音を響かせながら酔金氏到着。

5月5日

カバ氏に借りたジムニー・シエラで所用のため帰宅。キャンプ地に戻るとポロXT400のゴ三浦氏が到着していた。まずは乾杯。夕方、アベがXR650Rで到着。何だか久しぶりに新しいバイクを見たような気がする。

5月6日

朝から雨、当然ながら朝から宴会。アベの駅名連呼で今日も朝から頭が痛い。タープを増設し地下鉄氏はチマチマとブラモデルを作っているではないか。そんな中、朝から酔っぱらっていたフガ氏とカバ氏が帰り、今日は耐久宴会最終日、皆様、寄る年波なんですから無理に飲まないように。(組長)

伝統の味を大切に守ります  
無添加です

### 上嶋醤油

味噌もつまみ  
松本 味

### GW小武川組会一言

●いつものあの川原でいつもの仲間、懐かしい顔、初めてお会いする方問わず何物にも変え難い時間を共有していただいた事に感謝いたします。四輪・二輪問わず個性的な車両が多かった中でも、村松岡氏のさりげなくモデファイされたシエルパには感服いたしました。



●我が家の物置にめでたく2台の年次物が納まりました。毎日の出勤はコンピューターが適切な一台を選んでくれます。

●やっと辿り着いたコンバットキャンプ場。夜、醤油屋さんのちよつと怖い話に組長の「3人とも何かいる」と思った時はきつと何かいるんですよ。」のお言葉、肝に銘じます。(村松岡)



●いつもの場所ですいつものメンツ。ワンパターンはいつまで続くのでしょうか? いや、永遠に続けましょう!! (アベ)

連休ももんレポート in 米原キャンプ場(石垣島) 記 三浦2号

毎年GWは石垣島等に行つて、鳩間島(TVの瑠璃の島で有名になった)の音楽祭に参加したりして遊んでおり、組のGW宴には参加できませんでした。

今年のGWは石垣島の米原キャンプ場に8泊してきましたのでレポートします。

●ご存知の方もいるとは思いますが、昔、キャンパーからは「北の鳥沼、南の米原」と呼ばれた有名なキャンプ場の一つが、石垣島の米原キャンプ場です。(以前オオム真理教が大規模な集会を行ったことでも有名)北海道(富良野)の鳥沼キャンプ場は、残念ながら閉鎖になりました。(周囲住民の反対の為?)米原キャンプ場も同様に、あまりに長期滞在者が多い為に有料となり、多くのキャンパー(ライダー)がいなくなりました。

●20年前に、XRで行ったときは自由人のキャンパーやライダーだらけで、そりやもう、やりたい放題の夢の楽園でした。(その時には、ちよつど『雑誌アウトライダー』が「南の島特集」で取材に来ており、私も取材されちゃいました。)

●今年、4月25日と、GWよりは少し早めに到着した為に、キャンプ場には数人のキャンパーしか居らず、ガラツとしていました。が、やっぱり居ました! 濃い、米原キャンパーが4人!

●その内2人は、バハとCB400のライダーでした。毎晩のように宴が盛り上がり、とても詳細は誌面では書けないような激しく恥ずかしい宴会でした。

●2人のライダーが毎日石垣市内に買い出し行き、その後、夜の8時ころから夜中までが宴会で、昼間は砂浜でボーッと寝ている8日間でした。まさに、楽園のような「いつもの米原キャンプ場」でした。

●皆さんも、機会がありましたら、是非バイク持込でどうぞ。まだまだ、米原キャンプ場は健在です。(これを健在と言うのだろうか?)

●※注意 あまり長期滞在すると社会復帰できなくなります。



変なバカ好き  
フガの同級生  
松本みゆの屋の息子

# 病弱元のお宅訪問

薪ブローカー 菟田編



風薫る五月の日曜日、自身の進路も決まり体調維持のジム通いにも飽きていたので、ネットで拝見した菟田氏宅へ遊びに行こうと思いついた。地図を開くと埼玉県小川町は関越のインター中間。手前の東松山で降りてバイパス化された国道を進むと右手に「嵐山小川インター」の看板があった。4年前の地図には載ってなかったのね。

目印のコンビニで折れ、ちよろつと進んだ東武竹沢駅のロータリーで待ち合わせ。ロータリーといっても商店もバス停も無く、4両編成のローカル線が出てしまえば聞こえるのは驚の声だけというのかさ。程なくして菟田氏が国防色のジャイロに登場。雪駄に作業衣、ノーヘル(ジャイロはミニカー登録なのだ)と全てがのどかな風景にマッチしている(笑)。

やあどうもと駅ホームすぐ横のアパートに案内してもらおう。電車の停車位置からは外れているものの、新やら四駆用品やら雨水の溜まったジュープが置かれた敷地は丸見え。中も凄く。布団とちゃぶ台と生活導線以外は引越しのダンボールで足の踏み場もない。それでも何でも茶を頂き一服。

「近くの河原でミタリビークルの集まりがあるので行ってみませんか?」というのでジンを軽トラの荷台に乗せ出発。道中「ここが薪置き場」「ここが炭焼き名人の釜」「伐採依頼がこの山で」と案内を受けながら荒川の河原に到着。BQやらカヌーに興じる一般人とは別にO・D色の怪しい一団が:CCV誌面で見かけたことのない大型車も来ている。暑いので車の下に潜りたがるジンを引きずりつつ、出店の冷やかし。軍オタは中学で卒業したし、これ以上ガラクタを増やしたくないので買うつもりはなかったのに:独軍空挺用ブーツを買ってしまった(裏貼りも付いて良い皮革だったもんでつい)。菟田氏は「作業用だ」といつつ迷彩パンツを2本購入。家にもいつぱいあるだろうに:お互い「またガラクタが増えてしまった」とため息である。

上と違い、一応商品なので見た目や東ね易さも気にしつつ割って行く。さらに薪割り台がジンの小屋のまん前にあるものだから、割った先が飛んで小屋にぶつかるとやらジンのエサ皿を破壊するやらでオロオロする。大丈夫なんですか? 「いつもやってくるから大丈夫ですよ」うーん、苦労するご主人をもったジンに同情するなあ。

日が傾き、手に2つばかりマメができた頃に終了。腰は痛い、積上がった薪を眺めると充実感が湧いてくるのだ。あーちかれた。風呂を戴き、ビビール(みたいな)で乾杯。2本目の缶をグビグビしてるとポンピロリンとメーブルの着信:「薪が売れた」昨日引越荷物から出てきたというフライパンでモツ炒めなぞについてると又着信:「丸太の注文が入った」いやー薪でも案外商売になるんだなと関心しつつ、酔っぱらって寝たのでした。



あくる朝、二日酔いの主人に替わってジンの散歩。ちっちゃい頃は猫みたいたったジンも6ヶ月、グイグイと力強く綱をひく。そこいらを回って戻るも、主人は二度寝の最中。会社行きたくねーと愚図る主人を叩き起こし、2階のおばさんにもらったパンを食べて、主人は電車で出勤。私は東秩父村辺りの気持ちの良い山道をぐるぐる。筋肉痛に効くという武甲乃湯につかり、秩父で珍達(ちんたつ)ラーメンを食べて、チンタラと県道を走りつないで帰宅したのでした。

菟田(あ) (記せめぎん)

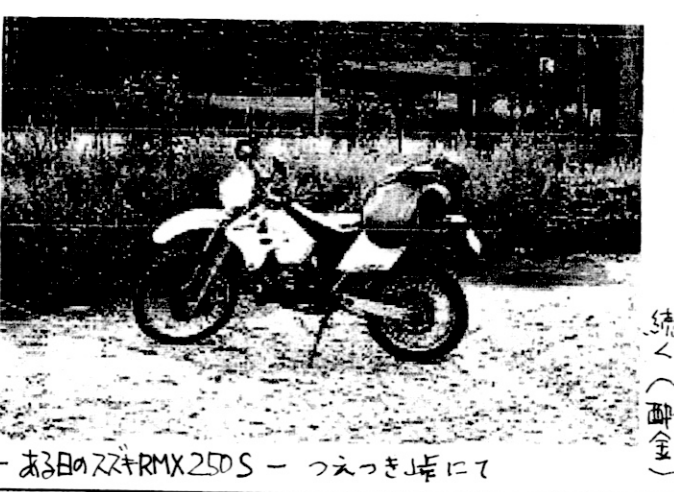
# 黄色いバイクがやって来た

スズキRMX250S復活記



東京に戻って数ヶ月間オフロードバイクと縁のない生活を続けていたが、ポンコツCBで組会に参加するのにも皆さんの迷惑になるし、やはりロードバイクだけでは物足りない。そんなところにRMXに乗り換えたゴミ浦氏のセル無しセローが転がり込んで来た。最近横行している『組内クズのたらい回し』である。やれ懐かしや、十数年前にはエンジンデュロで大変お世話になった車種である。一通りのメンテナンスとモテファイを施し、暇つぶしとクズパーツの整理が出来てああ良かった。11月の春野組会が初ツリングとなる。多少ヤレてはいても、30年前のロードバイクに比べればダートじゃ魔法の絨毯。おおいに満足して2日目の野宿宴会に突入した。かなり酔いが回ったところにゴミ浦氏からの電話。実はゴミ浦氏、この組会に参加の予定だったのだが出発直後にRMXがグズリ始め、新大宮バイパスを押しまくった挙句にリタイヤとなつたのだ。組長の携帯からRMXに愛想を尽かしたゴミ浦氏の声が聞こえてくる。酔った勢いというの恐ろしいもんでつい口走ってしまった。

「セローと取り替えてあげよう」こうしてセローはゴミ浦氏の元に戻って行き(人間とバイクの間にも腐れ縁というのがあるらしい)、よもやの黄色いバイクがやって来た。このRMX、某バイク誌の編集長氏がエンジンデュロに使っていたもので数年間放置されていたようだが、組長が若干手を入れたこともあり外観は比較的きれいだ。しかしゴミ浦氏に見放されただけあってまとも



ある日のスズキRMX250S - つえつき峠にて

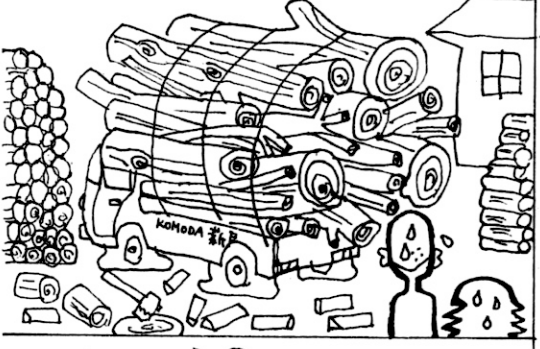
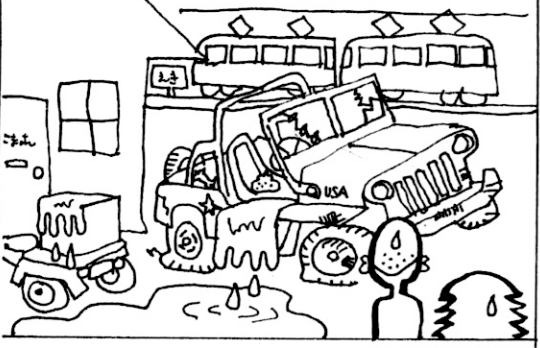
にアイドリングがしないし、吹け上がりもおかしい。タンクを開けてマグライトで照らすとそこには暗黒の世界が広がっていた。指先を突っ込むと、ザラリとした感触と共に真っ茶色の粒子がまとわりついてくる。キヤブの中も想像がつこうというものだ。その他一通り見渡してざっとダメ出しをしてみる。

- ・リヤシヨックからのオイル漏れ
- ・フロントタイヤサイドウォールのクラック
- ・クラッチの切れ不良
- ・エンジンローラーサー上がりのため インジゲーター類ハーネスの一部欠品
- ・サイドカバーやシートの一部損傷

しばらくブン投げられていた割には程度は上々である。

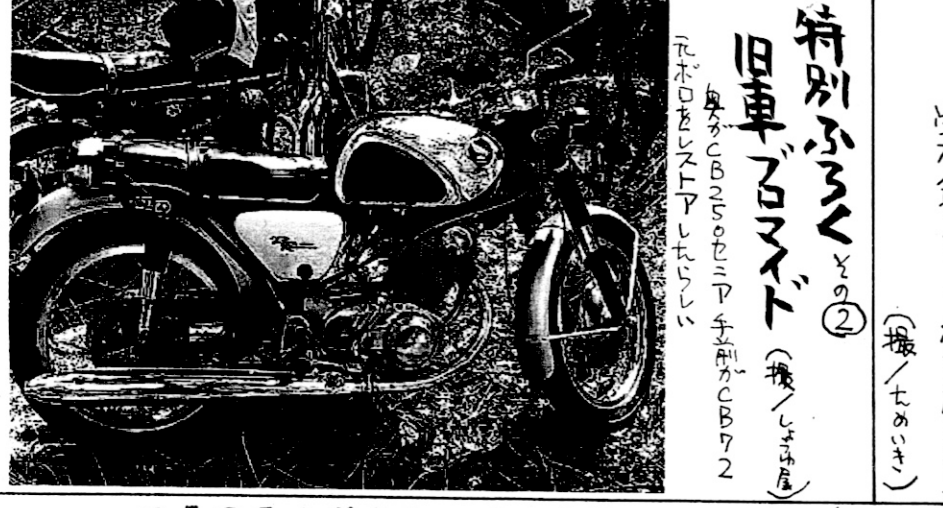
続(税金)

# コモダくち



ある日のしびき。朝の集會

編集後記  
大工の子育て仕事はたいへんせんせいのれ、はるかに何となく出てきたよー  
地本日は出社。地味な仕事でござります。昨日は出張。大阪です。ごは行ないます。昨日は出張。大阪です。ごは行ないます。昨日は出張。大阪です。ごは行ないます。



赤貧のしらびそ遙かなり  
前号で卓球台をゲットしたままでお知らせしたのだが、さらなる余興として初期組会にて配布された8ミリビデオの上映会という企画をばおもしろいと思ってしまった、ああ、しまった! デイク氏や朝氏がかなりの貴重資料をお持ちのようなので、アルコル系の顔でおびき寄せることにしよう! 最悪、テープだけでもお借りしようというところなのだが、デッキまでは持つておらんじやろな。そしてまた小生はオークションの住人と相成ったのでした。

さて、卓球台搬送の問題なのだが、ハスラー案は現物到着3秒でボツ。我が四輪スイフトなのだが、ロールバーやら補強バーやらでジャングルジム状態で積載性極めて悪し。ルーフィに積もうにも台の方が遥かにデカイので山道で枝にかかって前進不能は確実と判断。あゝ困った!

そうだ! 困った時には赤帽を呼ぼう! 奴には恩義をかけてある(かつて組会で二度も!! 落し物をひろってさし上げたのですワタシ) からきつとロハで運んでくれるやもくれたらいいな。でもこのあいだネクタイして酒のんでたからな。ヤダ! っていう可能性高いな。ああ困った。

そしてそしてとうとう決断いたしましたのであります。『ブツ断つちやつづく。』

特別ぶらぶら②  
旧車「ロマンティック」(換し) (換し) (換し)  
スナック  
どん底  
特別ぶらぶら①  
ある者板のひびき